



目指す子どもの姿 『自立と共生』

1期(1～4年) 【夢】	2期(5～7年) 【志】	3期(8～9年) 【誇り】
<ul style="list-style-type: none"> ○夢をもつ力、チャレンジをする力を身に付けさせる ○愛する、愛される経験を多くもち、積極的に他者とかわる意欲を向上させる 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画する力、調整する力を身に付けさせる ○組織・集団の中の役割を理解し、人のために行動する資質と能力を育む 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な他者を尊重し、適切なコミュニケーションができる力を身に付けさせる ○社会とのかかわりを大切に、他者や地域・社会に貢献する意識・意欲を醸成する

令和6年度の重点目標

1 豊かな心の育成 「いじめ防止推進事業の充実」 「環境教育の充実」	2 確かな学力の育成 「ICTを活用した学びの充実」 「基礎学力・活用力の習得」	3 健やかな体の育成 「健康な体づくり」	4 豊かな国際感覚の育成 「国際理解教育の充実」	5 連携の強化・深化 「小中一貫教育の充実」 「コミュニティ・スクールの推進」
<ul style="list-style-type: none"> ○他者とかわる機会の創出 思いやり人間関係の構築 ・学校行事、学年行事 ・縦割り班、委員会、クラブ活動、部活動 ・5～7年合同校外学習 ・あいさつ運動 ○いじめのない集団づくり ・学級活動の充実 ・ふれあい月間の取組 ・児童・生徒アンケート ・情報モラル教育 ・Web-QU ・ボランティア活動 ・『未来グロース』【小】 ・学年朝礼【中】 ○規範意識の向上 ・全校体制での指導 ・代表委員会、生徒会本部 役員会による自治活動 ○道徳教育の充実 ○環境教育を推進 ・ビオトープ、花壇 ・みなエコ、SDGs ○特別支援教育の充実 ・SC、SSWの活用 ・関係諸機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力・活用力の習得 ・御成門プログラムの活用 ・指導の個別化、学習の個性化の充実 ・協働的な学びの推進 ・ICT機器の活用 ・教科担任制の充実 ・習熟度別少人数授業の充実 ・プログラミング教育 ・算数タイム【小】 ・スタートカリキュラム【小】 ・各種検定の推奨 ○読書活動の充実 ・司書、支援員との連携 ・お話し会、読書週間、図書だより ○家庭学習の習慣化 ・家庭との連携 ○みなと科学館・郷土歴史館の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の定着 ・家庭との連携 ○健康を維持する能力の育成 ・港区学校教育食育指針の活用 ・食農教育【小】 ○体づくり・健康づくりの推進 ・組織的、重点的な取組【小】 ・ボルダリングの活用【小】 ・運動朝会【小】 ・朝ランニング【小】 ・体育授業、部活動【中】 ・ダンス ○安全教育の充実 ・安全指導日の指導充実 ・関係諸機関との連携 ○避難訓練・防災教育の充実 ・関係諸機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○国際理解教育の充実 ・大使館訪問 ・日本赤十字社、ASEAN協会等との連携 ・日本の伝統文化学習(地域人材との連携) ○国際科・英語科国際・英語科授業の充実 ・ICT機器の活用 ・メトロラーニングの活用【小】 ・シンガポール修学旅行の事前事後学習の充実、小中学生への報告会 ・オンライン英会話教室【中】 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域人材・資源を生かした学びの推進 ・地域の子どもの地域で育てる文化の醸成 ・地域を愛する子どもの育成 ○保護者・地域との連携の推進 ・HP、X等での情報発信 ・保護者参観機会の創出 ・地域人材との連携 ○学校運営協議会と連携 ・地域とともに歩む教育活動の充実 ・児童、生徒代表者の参画 ○学校評価の活用 ・学校関係者(保護者)及び学校運営協議会委員評価の活用 ・児童・生徒アンケートの活用(『子どもまんなか社会づくり』の推進)

教職員の組織対応の推進と資質・能力の向上

1 組織的対応の推進 2 きめ細かく速やかな保護者連絡の徹底 3 校内研修体制の強化 4 働き方改革の推進

